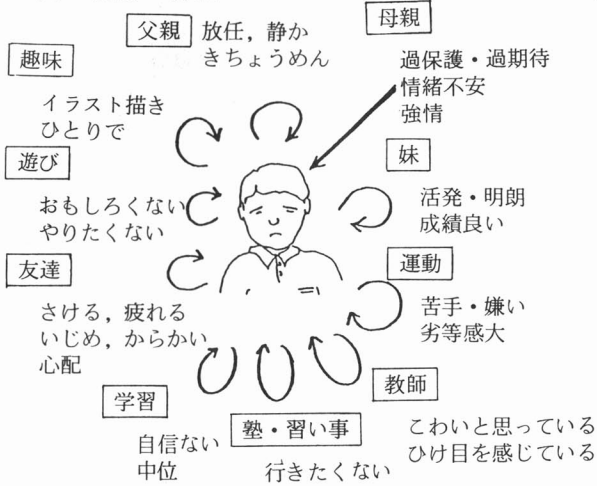


(4) 性格・特性



(5) 診断・方針

母親の養育態度（左図✓）が過干渉・期待過剰であったことと、C男の内向的な性格から、C男は不安に陥り、自信を持てなくなった（左図☹）と考えられる。このようなC男に対して、得意な絵を描かせ、ラポールを取りながら、励ましていくことによって、自信を持たせ、更にカウンセリングの中で、長期的・短期的目標を立てさせ、意欲を高めるよう指導援助していく。

4. 指導援助の実際

段階	指 導 援 助	C 男 の 様 子
ラポ 心1 をル 開を か形 せ成 るし 5~ 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>両親と現在の体調や好きなこと等について雑談して帰るといった家庭訪問を繰り返す。</li> <li>「漫画連絡帳」を作り、漫画を入れながら学級の様子や行事について知らせる。</li> <li>漫画の本を持って家庭訪問をする。</li> <li>本人との触れ合いの機会として散歩に誘ってみる。</li> <li>「漫画連絡帳」にK男、T男の漫画を入れて渡す。</li> <li>家庭訪問をし、K男、T男が漫画をととても気に入っていたことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C男が漫画に興味があり、収集したり描いたりしていることが話題になった。</li> <li>最初は、目を通してただで何も返事がなかった。</li> <li>C男は部屋から出てこない。</li> <li>しぶしぶついて来たが、笑顔は見られなかった。</li> <li>アニメのキャラクターを描いてよこした。</li> <li>C男は、母親と一緒に話を聞くことができた。漫画の話になると顔がほころんだ。</li> </ul>
行 動 設の 定目 す標 るを 8~ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問をしたところ、本人と話すことができ、学校の様子を話す。</li> <li>無理をしない登校の目標を話し合う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的目標                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>多少遅刻しても登校すること。</li> <li>登校する場所は教室以外でもよいこと。</li> </ul> </li> <li>○短期的目標                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>得意な絵の指導を通してC男にアプローチし、登校する意欲を高める。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>養護教諭と家庭訪問をし、登校した時の過ごし方について話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初はこわばった表情であったが、漫画のことが話題になると笑顔が見られた。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的目標                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>12月までに登校できるようにする。</li> </ul> </li> <li>○短期的目標                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>表（略）をもとに生活リズムを整える。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>少しぐらいならと登校意欲を示す。</li> <li>養護教諭も漫画や絵が好きなことを知り、笑顔が見られた。</li> </ul>
意 回 復を する 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標に合わせて、無理せず登校するように約束する。</li> <li>朝、電話をして、担任が待っていることを話す。母親が送ってくる。</li> <li>空き時間、休み時間に保健室で登校をほめ、一緒に漫画を描く。</li> <li>翌日も登校する。仲のよいK男、T男を保健室に行かせ、本人と話をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話は聞いていたが、あまりはっきりした返答はなかった。</li> <li>家を出る時は、こわばった表情でぐずぐずしていた。</li> <li>保健室では、漫画を描きながら明るく過ごすことができた。（2~3校時）</li> <li>養護教諭によると、笑顔が見られ、明るい雰囲気だったとのこと。</li> </ul>